

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立甲浦小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒702-8013

岡山市南区飽浦 250 番地

E-mail kouras@city-okayama.ed.jp

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~kouras/>

幼児児童生徒数 男子 118 名 女子 121 名 合計 239 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

1. 本校の ESD 年間計画について

豊かな自然と大切にされてきた地域の文化や伝統、産物などに親しむ経験を積み上げることで、温かい地域に支えられて育っていることに感謝し、ふるさとを想い、大切にしながら、ふるさとの自然や環境を仲間と共に守り発展させていこうとする心や態度を育むことを目標にしている。

主な活動としては、①クリーンアップ光南台、②なかよし活動、③甲浦なかよし隊の 3 つの活動を行っている。

	4月～7月	8月	9月～12月	12月～3月
① クリーンアップ 光南台	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の各教科で環境関連学習を実施。 5年生がポスター作成，6年生が地域のゴミ収集場所へポスター貼り。 高学年がパンフレット作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 連合町内会と連携。 参加啓発（各地区） 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年がリーダーとなり中学生や地域の方と共に各地区の清掃活動。低学年は学校の敷地内を保護者と共に清掃活動。振り返りカードに清掃前後の変化を写真やイラスト，文を交えて模造紙にまとめる。 	
② なかよし活動	<ul style="list-style-type: none"> 顔合わせの会 ロング「赤木自然林」「飽浦海岸」にて，なかよし活動。 		<ul style="list-style-type: none"> ロング「赤木自然林」「飽浦海岸」にて，なかよし活動。 	
③ 甲浦なかよし隊	<p>1年生… 6月</p> <p>2年生…4月</p> <p>3年生………</p> <p>4年生…4月</p> <p>5年生… 5月</p> <p>6年生… 6月</p>		<p>11月</p> <p>1月</p> <p>12月</p> <p>12月</p> <p>3月</p> <p>2月</p>	

① クリーンアップ光南台について

中学校区の活動として，毎年9月に，地域の人，中学校，小学校で連携して清掃活動を行っている。周辺の自然環境と自分たちの暮らしのつながりについて考えるために，中学生とともに清掃活動を行った後，集めたごみを観察したり，仕分けしたりして，ごみがどこから来たのかを考え，様々な人やが暮らしやすい社会を作ろうとする態度を育てている。

② なかよし活動について

全校児童が20の縦割り班に分かれて，ショート（月に1回朝の学習時間15分を使って実施）とロング（半年に1回総合的な学習の時間など2時間を使って実施）の時間で遊んだり活動したりした。体験を積み重ねるなかで，高学

年がリーダーシップをとることができるようになり、計画から実施、反省までスムーズに実践し、「関わり合いながら仲間づくり」を進める力が育ってきている。なかよし活動ロングの時間には、学区の中にある「赤木自然林（学校林）」と「飽浦海岸」に分かれて、それぞれの環境の中で、6年生がリーダーとなり、遊びやクイズなどを考え、班ごとに活動を楽しむことができた。

赤木自然林では、木々や草花、虫を探しながらネイチャーワークを楽しんだ。6年生は、事前に探す植物や虫の写真を撮ってラミネートカードを作り、班のみんなで活動が楽しめるようにした。

飽浦海岸では、事前に調べた砂浜の生き物を防水用デジタルカメラで撮って、ラミネートカードにし、班で協力して生き物探しをしたり、海岸から見える物や景色を探したりした。また、砂浜で砂山や水路作りをし、上級生も下級生も自然の中での遊びを楽しむことができた。

どの活動でも事後は、感想や絵をかき、楽しかった思いや気づきなどポートフォリオ形式で記録を残している。また、高学年の企画、準備、運営の様子も併せて校内に掲示し、それぞれの班の活動の様子や感想を全校で共有している。

③ 甲浦なかよし隊について

各学年の活動を、自然や環境・文化への関わりが持てるように、教科や総合的な活動の時間と関連づけながら横断的、縦断的に計画した。それにより、低・中学年では自然や文化への関心や意識の芽生えに繋げることができている。また、高学年では環境保全を活動の中心としながら、自分たちの暮らしをより豊かにするための実践力の向上に繋げることができた。



① クリーンアップ光南台



② なかよし活動(赤木自然林)



② なかよし活動（飽浦海岸）



③ 甲浦なかよし隊（3学年）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教育課程において ESD を総合的な学習の時間や各教科に位置づけて、各学年で実践を行っている。内容においては、年度ごとに各学年の担任を中心に行い、児童の実態に適したものであるか、より効果的な活動や指導方法はどうかを検討し、必要に応じて内容の変更を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

各学年で年間計画を立てて、いつ頃どんな活動をするのかということを経験者間で共通理解をしておき、年度が変わって担任が変わっても、指導がスムーズにできるよう工夫している。また、年度末には一年間の活動の振り返りを行い、次年度へ向けての成果や課題を話し合っており、学校内で共有している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

評価は、活動後に行う児童の記録である。感想や絵をかいて、楽しかった思いや気づきなどポートフォリオ形式で記録を残している。また、高学年の企画、準備、運営の様子も併せて校内に掲示し、それぞれの班の活動の様子や感想を全校で共有している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

中学校区の公民館において、3年生による実践「すてきなまち甲浦」において、地域の祭りや伝統行事など調べたことをパネルにし、展示した。それにより、学校関係者以外にも学校の ESD の実践を紹介すると共に、地域の伝統文化の大切さについても知らせることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

3年・・・JAとの協働で小松菜栽培を行い、地産地消の良さ、地域農業の良さを学んだ。
4年・・・養護老人ホームとの交流により、高齢者とのふれあいや、老人福祉について学ぶことができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

中学校区内での交流により、地域の環境問題について共同で考え、清掃活動などを行っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

児童は、地域にある身近な自然に興味を持ったり、環境問題を自分のこととして考えられるようになってきたりしており、環境を守る活動に少しずつ取り組むようになってきている。

教員間では、各教科や総合的な学習の時間と、ESDの関連を意識して授業に取り組めるようになってきている。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

今年度と同様に、豊かな自然と大切にされてきた地域の文化や伝統、産物などに親しむ経験を積み上げていきたい。そして、温かい地域に支えられて育っていることに感謝し、ふるさとを想い、大切にしながら、ふるさとの自然や環境を仲間と共に守り発展させていこうとする心や態度を育む活動に取り組みたい。主な活動としては、来年度も、①中学校区でのクリーンアップ光南台、②縦割り班でのなかよし活動、③各学年での甲浦なかよし隊の3つの活動を行う予定である。